

中島 淑子 (Yoshiko NAKASHIMA)

学位：博士（教育）

略歴：名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程前期課程修了

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学

専門分野：教育方法学

研究課題：1. 小学校算数「量」の学習における操作活動の意義と可能性

2. 自主的な研究サークルにおける教師の学びの成立

3. 子どもの発言に内在する授業諸要因に関する事例研究

【著書】

- ・「小学校『長さの学習』における概念的な理解と操作活動」、的場正美・柴田好章編著『授業研究と授業の創造』（溪水社、2013年）

【論文】

- ・「小学校算数『量』の学習における構成的な操作活動の意義と可能性」、博士学位論文（名古屋大学、2020年）
- ・“How to Bridge the Gap between National Curriculum and Reality of Classroom: Perspective of Lesson Study for Curriculum Improvement”（共著、“The International Conference on Efficiency and Effectiveness of Educational Service at Mongolian National University of Education (MNUE). 2019.”）
- ・「子どもの思考を反映した教授介入:割合の概念的理解の保持について」（共著、『日本教育心理学会総会発表論文集』57、2015年）
- ・「子どもの論理を反映した教授介入:割合の認知的障害に及ぼす効果」（共著、『日本教育心理学会総会発表論文集』56、2014年）
- ・「子どもの発言に内在する授業諸要因の抽出に関する事例研究」（共著、『名古屋大学大学院教育発達科学研究科[教育科学]』59-1、2014年）
- ・「長さ、かさ、広さの任意単位による測定を通して拡張される概念」（『日本数学教育学会第43回数学教育論文発表会論文集』2、2010年）
- ・「小学校低学年「長さ」における操作活動と概念の拡張」（『教育方法学研究』35、2009年）

【学会発表】

- ・“How to Bridge the Gap between National Curriculum and Reality of Classroom: Perspective of Lesson Study for Curriculum Improvement”（柴田好章氏との共同研究、“The International Conference on Efficiency and Effectiveness of Educational Service at Mongolian National University of Education (MNUE)”、モンゴル国立教育大学：ウランバートル市、2019年）
- ・“Enhancing Lesson Study and Developing Teaching Materials focusing on students learning”（モンゴル授業研究会、モンゴル国立教育大学：ウランバートル市、2017年）
- ・「算数教育における量学習の変遷」（日本教育方法学会第3回大会、千葉大学、2017年）
- ・“Transition of Misconceptions of the ‘Length’ during math classroom discussion: Merits and Faults of prior knowledge and students’ interaction”（柴田好章氏との共同研究、世界授業研究学会日本大会、名古屋大学：名古屋市、2017年）

- ・「小学校算数教育における分離量と連続量の統一的指導原理の構築 ― 量の動態的認識に基づいて ―」（日本教育方法学会 第52回大会、九州大学、2016年）
- ・「日本の教師たちが学ぶ自主的な研究サークルについて」（世界授業研究学会イギリス大会、エクセター大学：エクセター市、2016年）
- ・「自主的な研究サークルにおける日本の教師たちの学び」（世界授業研究学会インドネシア大会、インドネシア教育大学：バンドン市、2014年）
- ・「長さの測定学習における手続き的な知識と共に形成される概念的な理解」（世界授業研究学会スウェーデン大会、ヨーテボリ大学：ヨーテボリ市、2013年）
- ・「『量の測定』における操作活動と概念の拡張」（世界授業研究学会シンガポール大会、国立教育研究所・南洋理工大学・シンガポールアカデミーオブプリンシパル：シンガポール、2012年）